

補正予算審査
特別委員会

◇開催日 9月7日
◇委員長 小林こうじ
◇副委員長 松原亜希子
◇委員数 20人
(正副議長を除く)
◇審査結果 各会計とも
原案可決

各会派の主な質疑
(質疑順に掲載)

自由民主党昭島市議団

質問 普通交付税について、令和4年度は不交付であったが、5年度の当初予算で1億円計上し、最終的に今回更に約1億9千万円の増額となっているが、理由は。答弁 当初予算は前年度当初予算と同額とした。今回の増額は、保育所などの児童福祉費や障害福祉費におけるサービス量等の増によるものと推測する。

質問 市民総合交流拠点施設の第二駐車場について、①用地取得の費用が当初予算より8千290万円の減額となっているが、理由は。②駐車場数は何台を予定しているのか。

答弁 ①都が売却価格を決定する際、利用内容を踏まえた一定程度の減免があったためである。②24台程度駐車できると想定している。質問 教育費における熱中症対策用の簡易テントについて、①どのようなものを購入するのか。②各学校に均等に一律で支給するのか。

答弁 ①設置や撤収が簡単なものを購入し、授業や部活動、学校行事、災害時などで活用することを考えている。②1校当たり一律4張りを用意している。

質問 带状疱疹ワクチン任意接種補助金について、①接種した方への助成額は。②万が一健康被害が起きた場合の補償等の考え方は。

答弁 ①生ワクチンは5千円を1回、不活化ワクチンは1万1千円を2回として、②重篤な健康被害が生じた場合、法の規定に基づき給付が行われる。

みらいネットワーク

質問 学校の備品購入費について、簡易テントの導入により屋外での熱中症対策が進んだことは評価する。子どもたちが学習に集中できるよう、屋内での対策も重要と考える。見解は。

答弁 空調設備の保守点検の毎年実施に加え、機能を確保できるようカーテンの活用などの対策をしていく。

質問 介護保険制度について、来年度は介護保険料の改定期となる。現在の介護保険料は据え置きとなるのか、あるいは値上げをするのか、今後の見通しは。

答弁 来年度からの3か年に向けて試算しているところだが、できる限り被保険者の方の保険料負担を抑えられるよう、施策等も検討する中で見極めていく。

日本共産党昭島市議団

質問 生活保護費について、

都に対して負担金の返還があるが、生活扶助費における都負担金の具体的な役割は。答弁 居宅がなく、入院や施設に入所する方などに対する負担金である。

質問 居場所づくりプロジェクト事業におけるワークシヨップについて、様々なニーズに対する市民の声をどのように吸い上げるのか。

答弁 会場だけでなく、ウェブコンテンツなどDXの力も借りながら様々な立場の方の意見を聞いていく。

質問 新型コロナウイルスについて、引き続き十分に警戒するように、市広報等で周知・啓発をすべき。

答弁 市ホームページで感染防止対策等を掲載している。今後も状況を把握し、必要な対応に努めていく。

質問 带状疱疹ワクチン助成額は自治体により異なる。不活化ワクチンの助成額を1万1千円とした理由は。

答弁 先行自治体の助成額よりも更に市民の負担を軽くする目的で決定した。

質問 居場所づくりプロジェクト事業支援委託の922万1千円は3年間の総額か。

答弁 令和5年度の予算額である。3年間のうち6・7年度分は債務負担行為補正として計上している。

質問 3歳未満の第2子の保育料が無償化となるが、①財源の内訳で一般財源が減少している要因は。②今後の一般財源の使用用途は。

答弁 ①保護者と市が負担

都民ファーストの会・
立憲民主党昭島市議団

質問 居場所づくりプロジェクト事業支援委託の922万1千円は3年間の総額か。

答弁 令和5年度の予算額である。3年間のうち6・7年度分は債務負担行為補正として計上している。

質問 3歳未満の第2子の保育料が無償化となるが、①財源の内訳で一般財源が減少している要因は。②今後の一般財源の使用用途は。

答弁 ①保護者と市が負担

たに負担するため。②様々な子育て支援施策を行って、今後どのようなことができるか検討したい。

質問 带状疱疹ワクチン接種助成制度について、带状疱疹の発症は若い世代にも起こり得る。対象年齢の拡大に向けた今後の対応は。

答弁 带状疱疹の発症は約7割が50歳以上であり、状況をみて対応を検討したい。

質問 寄附金を用いて熱中症対策の簡易テントを購入した経緯は。

答弁 寄附者の希望に沿い、関係部署と調整し決定した。

質問 心身障害者福祉タクシー利用助成事業について、自宅等への迎車費用も対象となるよう検討するとのことだったが、その後の対応は。

答弁 令和5年4月より、助成の対象となるよう要綱を改正し、実施している。

質問 小中学校の熱中症対策としてテントを購入するが、ここ数年の熱中症警戒アラートの発報回数は。

答弁 運用が開始された2年度が17日、3年度が7日、4年度が10日、5年度は9月1日現在で24日となっている。

質問 带状疱疹ワクチン接種助成制度について、ワクチン接種についての周知はもとより、带状疱疹そのものに関する正しい知識を市民に周知していくことが重要と考えるが、対応は。

答弁 带状疱疹予防の知識の普及については取り組むべきことであり、市ホームページに掲載していきたい。

質問 新型コロナウイルス感染症について、2類から5類になり対応が新たな局面に入っている。予防接種が大事であると考えているが、秋開始の予防接種の予定は。

答弁 個別接種は9月20日から令和6年3月31日まで、集団接種は10月6日から11月11日まで実施する予定となっている。

公明党昭島市議団

質問 心身障害者福祉タクシー利用助成事業について、自宅等への迎車費用も対象となるよう検討するとのことだったが、その後の対応は。

答弁 令和5年4月より、助成の対象となるよう要綱を改正し、実施している。

質問 小中学校の熱中症対策としてテントを購入するが、ここ数年の熱中症警戒アラートの発報回数は。

答弁 運用が開始された2年度が17日、3年度が7日、4年度が10日、5年度は9月1日現在で24日となっている。

質問 带状疱疹ワクチン接種助成制度について、ワクチン接種についての周知はもとより、带状疱疹そのものに関する正しい知識を市民に周知していくことが重要と考えるが、対応は。

答弁 带状疱疹予防の知識の普及については取り組むべきことであり、市ホームページに掲載していきたい。

質問 新型コロナウイルス感染症について、2類から5類になり対応が新たな局面に入っている。予防接種が大事であると考えているが、秋開始の予防接種の予定は。

答弁 個別接種は9月20日から令和6年3月31日まで、集団接種は10月6日から11月11日まで実施する予定となっている。

無会派

質問 テントは、貴重な寄附により購入するものであり、大切に使う意識を持たせることも教育の一つと考えるが、周知方法は。

答弁 テントの短辺部と長辺部に寄附者の名前を記載し、周知する予定である。

質問 補助率10割の都支出金を利用する市民総合交流拠点施設居場所づくりプロジェクト事業について、支出額922万1千円の内訳は。

答弁 ワークシヨップの実施や居場所のためのリサーチ経費等として計上した。

質問 補助率10割の都支出金を利用する市民総合交流拠点施設居場所づくりプロジェクト事業について、支出額922万1千円の内訳は。

答弁 ワークシヨップの実施や居場所のためのリサーチ経費等として計上した。

後期高齢者医療特別会計

反対

日本共産党昭島市議団

2年ごとに改定される後期高齢者医療制度の保険料は、75歳以上の被保険者数が増えるのに応じ、自動的に保険料が上がる仕組みとなっており、歳を重ねるがゆえにかさむ医療費を、保険料の値上げにより、高齢者自身に迫り続ける無慈悲な制度である。

また、令和4年度は団塊

賛成

自由民主党昭島市議団

美座たかあき 議員
一定以上の所得がある方の一部負担金について、新たに2割負担が導入されたが、制度の運営主体となる東京都後期高齢者医療広域連合では、被保険者の急激な負担増につながらないよう設けられた配慮措置とともに、構成自治体の負担金による独自の特別対策を継続し、低所得者層などに対

下水道使用料の減免、キャッシュレス決済ポイント還元事業、プレミアム付き商品券事業、学校給食用食料購入費補助など、市民の要望が数多く実施されており、高く評価する。

引き続き財政健全化に努めつつ、多様性と意外性のある楽しいまち昭島の構築に向け、たゆまぬ努力を願う。本決算に賛成する。

の世代が75歳を迎えたことにより前年に比べ被保険者数が5%増え、1万5千301人となった。戦後の日本を築いてきた高齢者の命と健康を年齢で差別する医療制度の抜本改革こそ必要である。国の負担の増額を求め、高齢者医療制度の更なる拡充や保険料の引き下げのために尽力するよう強く求める。

以上、制度の無慈悲さの下、保険料の値上げが行われた本決算に反対する。

する負担軽減を図っている。制度の安定的な運営に十分配慮する中で、最大限考慮した結果であると評価する。

一方、令和6・7年度の保険料の検討にあたっては被保険者数の大幅な増加や物価高騰等の影響もあり、慎重な検討が必要である。

引き続き東京都後期高齢者医療広域連合の構成市として、高齢者の健康で安全・安心な生活を守るため、適切な役割を果たすことを要望し、本決算に賛成する。

4面下段へ続く